

SkyVisualEditorオンラインセミナー

～第7回 基本編～

Force.com Sites上に 資料請求フォームを作成しよう

2014年11月18日（火）

株式会社 **テラスカイ**

The logo for TerraSky, featuring the word "TerraSky" in a blue serif font with a red dot over the "i" in "Sky". A blue arc is positioned below the text, and a red arc is positioned above it.

本セミナーの目的

SkyVisualEditorの機能および設定方法の紹介を目的としています。

本日のセミナーのご対象者

- ・ **Force.com Sites上でフォーム作成をご検討中**のご担当者様
- ・ SkyVisualEditorの「**ウィザード画面テンプレート**」の**設定にお困り**のご担当者様

本セミナーのゴール

「ウィザード画面テンプレート」を使い、画面の作成方法を理解する。

※ SkyVisualEditorの製品概要については以下をご覧ください。
(<http://info.skyvisualeditor.com/>)

SkyVisualEditorのコンテンツについて

SkyVisualEditorの設定ガイドやTipsなどのコンテンツをWebで公開しています。
是非、ご活用ください。

(<http://info.skyvisualeditor.com/developer/beginner/>)



 導入編

SkyVisualEditorを使って、Salesforceをより効果的に活用しよう。

Step1 : 導入しよう

これからSkyVisualEditorを利用し始める方に。

- 全操作方法が記載されたマニュアル → [操作マニュアル](#)
- 基本的な操作方法をご紹介する動画 → [画面開発手順](#)
- はじめてSkyVisualEditorを利用される方は、このスタートアップガイドをご覧ください → [スタートアップガイド](#)

Step2 : 定着化をはかろう

多くのSkyVisualEditorユーザーが活用している画面の作成方法をまとめました。

- [検索画面を作成しよう](#)
- [使いやすいワークフロー画面を作成しよう](#)

Step3 : もっと活用しよう

こんな使い方があったんだ！という、SkyVisualEditorの一步進んだ利用方法をお伝えします。

- [SkyVisualEditorの便利な機能 その1](#)

1. ウィザード画面テンプレートについて

2. ウィザード画面テンプレートを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

※ 本セミナーの詳細な内容は以下操作マニュアルをご覧ください。

(https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf)

※ 当資料のロゴや設定画面はSalesforceのバージョンアップによって変更する可能性があります。

1. ウィザード画面テンプレートについて

2. ウィザード画面テンプレートを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

ウィザード画面テンプレートについて

ウィザード画面テンプレートとは、Salesforce上にコールセンター向けのスクリプトフローのような画面やアンケートサイトや資料請求フォームなどウィザード形式の画面を作成できるテンプレートです。例えば、お問合せフォームでは、入力画面→確認画面→受付完了画面などの画面遷移が伴う画面を設定する際に便利な機能です。また、入力された値によって、遷移する画面を指定することができるため、システムに慣れていないユーザでも迷わず入力可能な画面を作成できます。

▼ 入力画面

▼ 確認画面

▼ 受付完了画面

ウィザード画面テンプレートの確認事項

ウィザード画面テンプレートで画面を作成する上で、以下をご確認ください。

※ 今後のバージョンアップにより、下記確認事項は変更されることがあります。

確認事項
1フローあたり、20画面まで設定することができます。
「Salesforceレイアウト」「自由レイアウト」をレイアウトとしてご利用いただけます。
単一オブジェクトでのレコードの作成ができます。 <ul style="list-style-type: none">• 例えば、取引先の登録後、商談を登録し、その商談の商談商品を登録することはできません。• ただし、取引先の登録後、商談を明細形式で登録することは可能です。

※ ウィザード画面テンプレートは、1つのフローで表示する画面内のデータをビューステートとして含みます。

※ Salesforceレイアウト、自由レイアウトについては以下をご覧ください。

- Salesforceレイアウト (<http://www.terra-sky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-vol5.php>)
- 自由レイアウト (<http://www.terra-sky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-3.php>)

Force.com Sitesについて

Force.com Sitesとは、Force.comプラットフォーム上でネイティブに動作する公開Webサイトを作成する仕組みです。例えば、サポートFAQサイトやお問合せフォーム、また商品のカタログの公開ページなどを作成することができます。

ただし、Force.com Sitesは、Visualforceページによって構築する必要があります。SkyVisualEditorをご利用いただければ、Force.com Sites上で公開するページをマウスクリックの操作で作成することができます。

Force.com Sitesの詳細については、以下をご覧ください。

(<https://developer.salesforce.com/page/JP:Sites>)

1. ウィザード画面テンプレートについて

2. ウィザード画面テンプレートを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

ウィザード画面の作成方法

以下は、SkyVisualEditorでウィザード画面を作成する際の流れです。
本日は以下手順にそって、ウィザード画面の作成方法をご紹介します。

1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

1. オブジェクト（テーブル）の選択

SkyVisualEditorスタジオへのログイン後、メニューエリアの[ファイル]-[新規]をクリックし、レイアウトマネージャより、「[テンプレート]ウィザード画面」を選択します。

ウィザード画面を作成したいオブジェクトを選び、必要に応じてVisualforceページ名を設定し、[OK]をクリックします。今回は、資料請求の登録データをSalesforce標準の「リード」に取り込みたいので、オブジェクトは[リード]を選びます。



※ SkyVisualEditorスタジオへのログイン方法は、以下をご覧ください。
(<http://www.terraSky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-web1.php>)

1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

2. レイアウトの選択

レイアウトマネージャにて「[テンプレート]ウィザード」を選択すると、以下の画面キャプチャが表示されます。画面右側の①より、画面のレイアウトを選択します。今回はSalesforceレイアウトを選択します。

・Salesforceレイアウトの場合は、次のアイコンをクリックします。 →

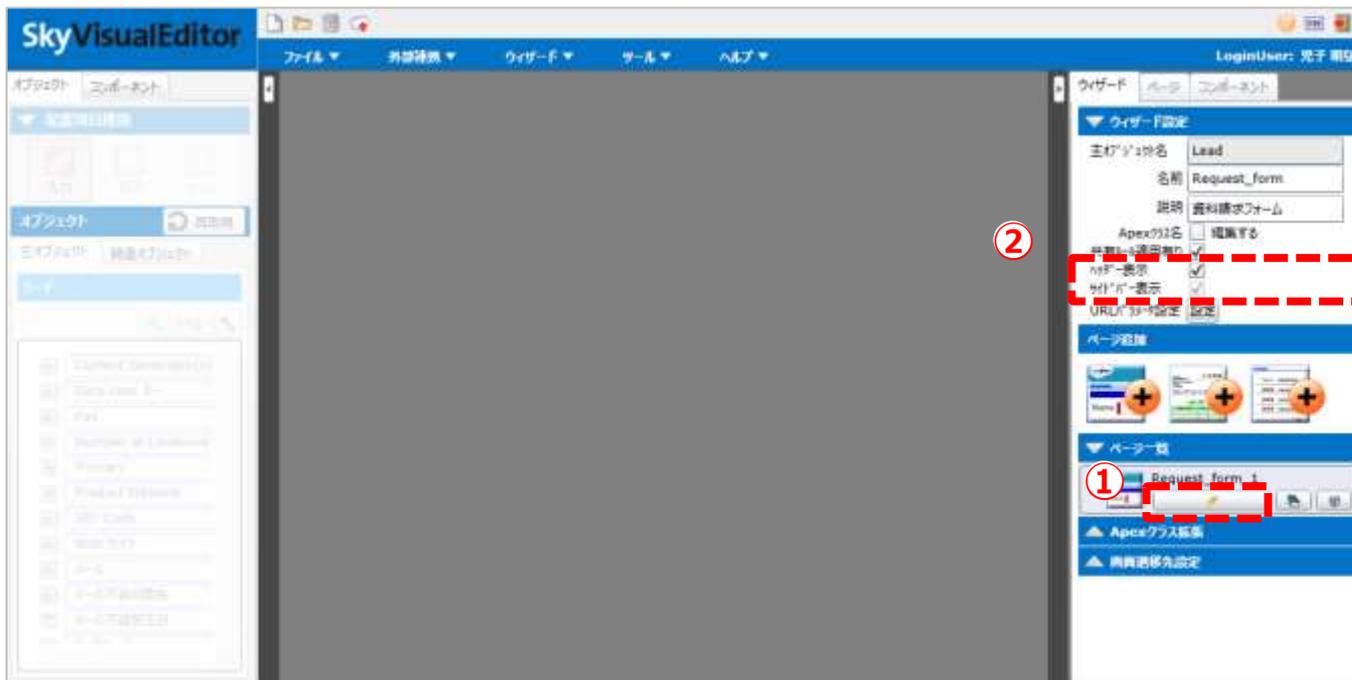


・自由レイアウトの場合は、次のアイコンをクリックします。 →



2. レイアウトの選択

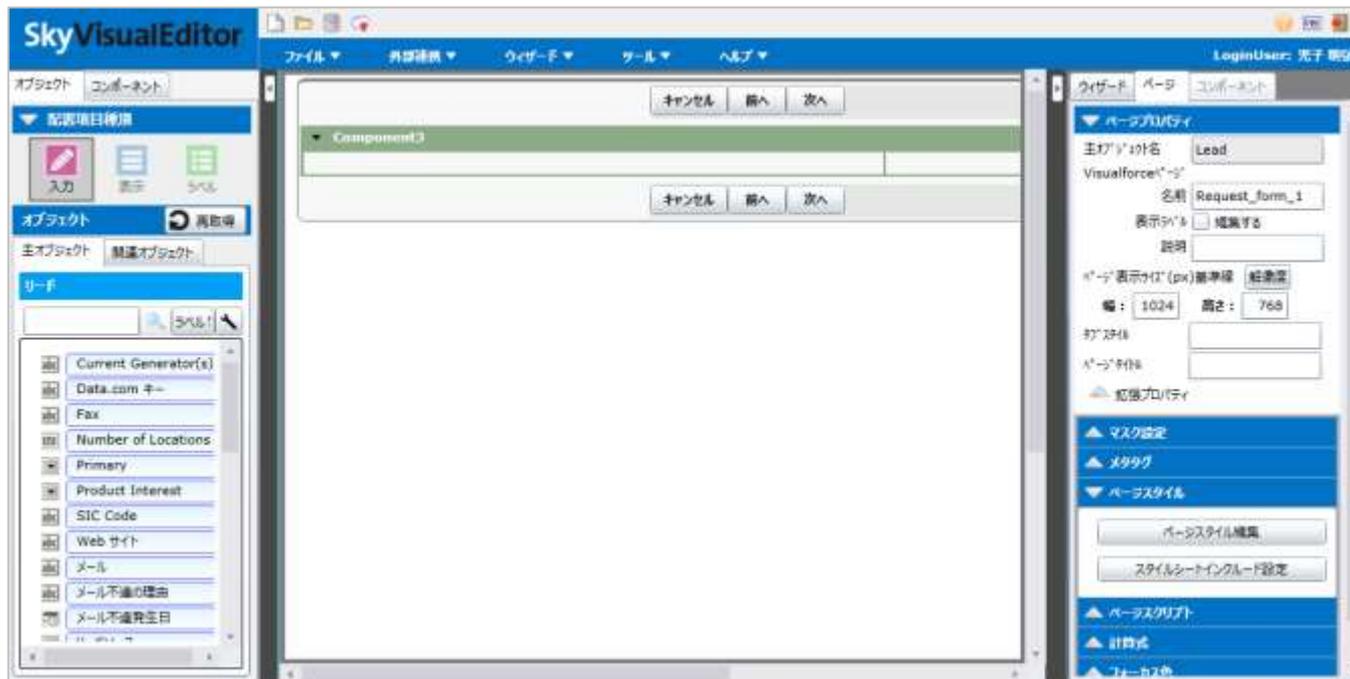
レイアウトを選択しますと、画面右側の[ウィザード]タブ内の[ページ一覧]にページが作成されます。ページを編集する際は、①の編集ボタン（）をクリックします。また、今回はForce.com Sites上にページを公開しますので、Salesforceのヘッダーおよびサイドバーを非表示にするために、②のヘッダー表示、サイドバー表示のチェックボックスをOFFにします。



2. レイアウトの選択

編集ボタンをクリックすると、ページの編集画面が表示されます。
次のページからは、実際にフォームを作成する手順を紹介いたします。
なお、今回はウィザード画面の作成手順を目的としているため、Salesforceレイアウトの詳細な設定の手順を知りたい方は、以下ドキュメントもご参考にしてください。

<http://www.terraskey.co.jp/document/download/skyvisualeditor-vol5.php>



1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

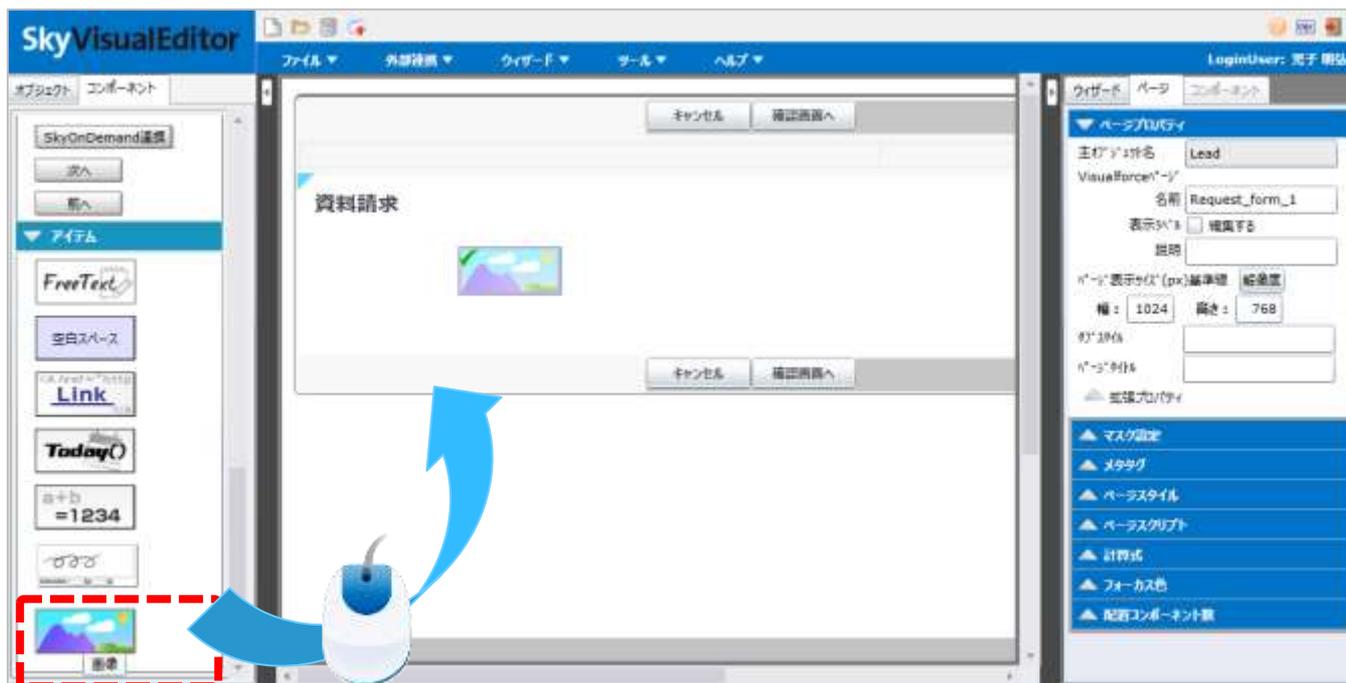
3. 入力画面の作成（画像の配置）

まず、ページの中に画像を配置します。

画面左側の[コンポーネント]タブ内の[アイテム]にある画像コンポーネントをページ内にドラッグ & ドロップで配置します。

コンポーネントを配置すると、画像ソースを選択するダイアログが表示されますので、該当する画像を選択し、[開く]ボタンをクリックします。

配置した画像は、幅と高さをSkyVisualEditor側で指定できます。



3. 入力画面の作成（入力フォームの作成）

画面左側の[コンポーネント]タブ内のパネルグリッドコンポーネントをドラッグ & ドロップで配置します。パネルグリッドを配置しますと、行数、列数を指定するダイアログが表示されますので、設定したい行数と列数を指定し、[OK]をクリックします。

なお、行数は最大で50行、列数は最大で20列まで設定できます。

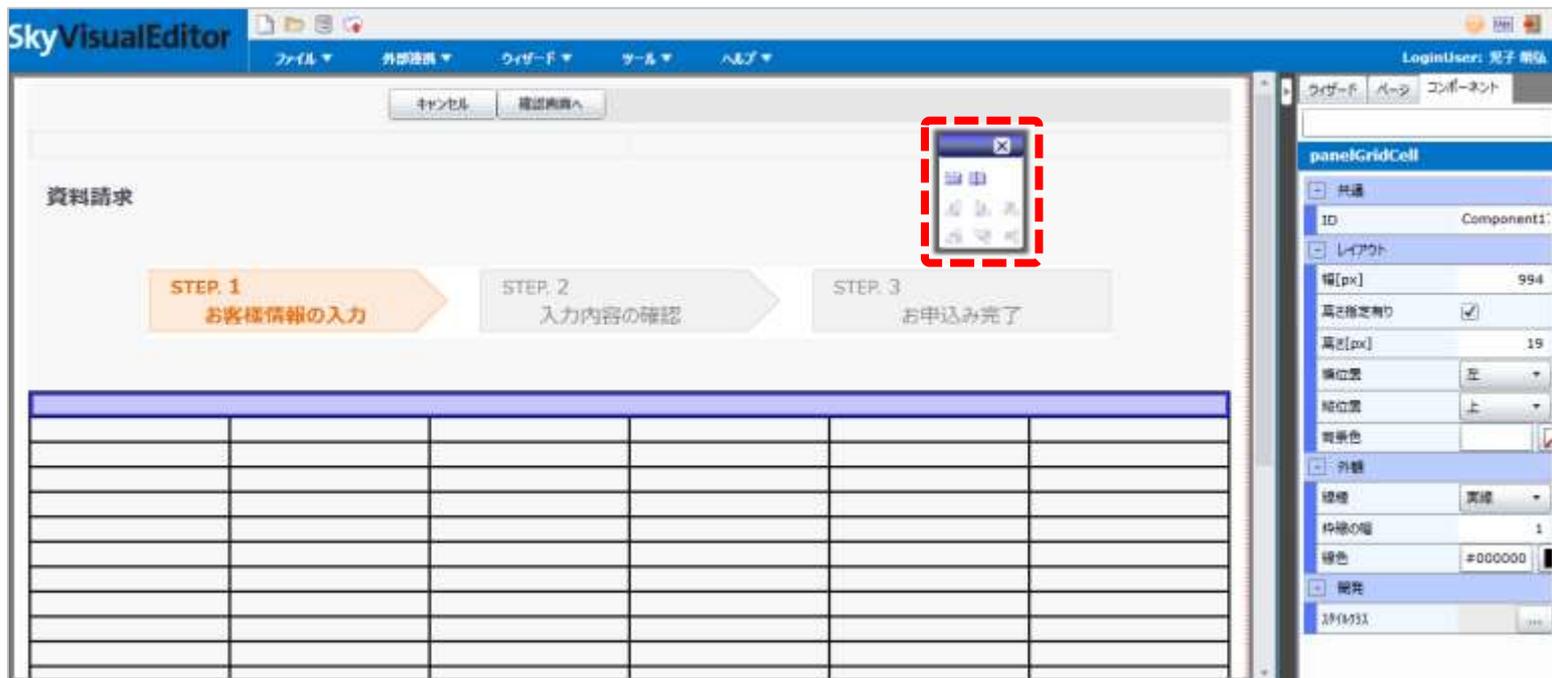
パワーポイントの表のように、レイアウトへ配置後も行数、列数は追加/削除できます。



3. 入力画面の作成（入力フォームの作成）

配置したパネルグリッドの操作は、クリックで選択したセルや行、列を指定できます。また、ダブルクリックすることで表（パネルグリッド）全体を指定できます。

配置したパネルグリッドの表は、パワーポイントの表と同じように、セルの結合やセルの高さ・幅などを設定できます。セルを結合させたい場合は、まず結合させたいセルの範囲を指定し、次に②より結合（）のアイコンをクリックします。



3. 入力画面の作成（自由テキストの配置）

表のレイアウトを作成できれば、次にタイトルなどの固定のテキスト項目を配置します。SkyVisualEditorでは、画面上に自由な文字列を配置できます。画面左側の[コンポーネント]タブ内の[アイテム]にある自由テキストをページ内にドラッグ＆ドロップで配置します。自由テキストを配置した後、ダブルクリックしテキストを入力します。



3. 入力画面の作成（入力項目の配置）

次に資料請求フォームに配置する入力項目を配置します。
画面左側の[オブジェクト]タブより、レイアウトした表に項目をドラッグ & ドロップで配置します。



3. 入力画面の作成（複数選択リストのチェックボックス化）

SkyVisualEditorでは、複数選択リストをワンクリックでチェックボックス形式に表示を変更できます。まず、複数選択リストの項目を選択（①）し、画面右側の[コンポーネント]タブ内の[テキスト]より[チェックボックス化]のチェックボックスをONにします。（②）チェックボックスの表示レイアウトを、縦表示/横表示に設定できます。（③）以下の画面キャプチャは縦表示に設定した状態です。

The screenshot displays the SkyVisualEditor interface. The main workspace shows a form titled '資料請求' (Request for Information) with three steps: STEP. 1 (お客様情報の入力), STEP. 2 (入力内容の確認), and STEP. 3 (お申込み完了). Below the steps, there is a table with the following content:

お客様情報を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。	
*の項目は必ずご入力ください。	
お選びいただいた製品の資料をお送りいたします。①	
希望する資料を選択ください。 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> Salesforceの導入支援 <input type="checkbox"/> SkyVisualEditor <input type="checkbox"/> SkyOnDemand <input type="checkbox"/> DCSpider <input type="checkbox"/> gloviaOM

The right-hand side of the interface shows the 'inputField' component palette. The 'テキスト' (Text) section is expanded, and the following settings are visible:

- 文字色: #000000
- 文字のサイズ: 1.0 em
- 文字の太さ: Normal
- チェックボックス化:
- 表示レイアウト: 縦

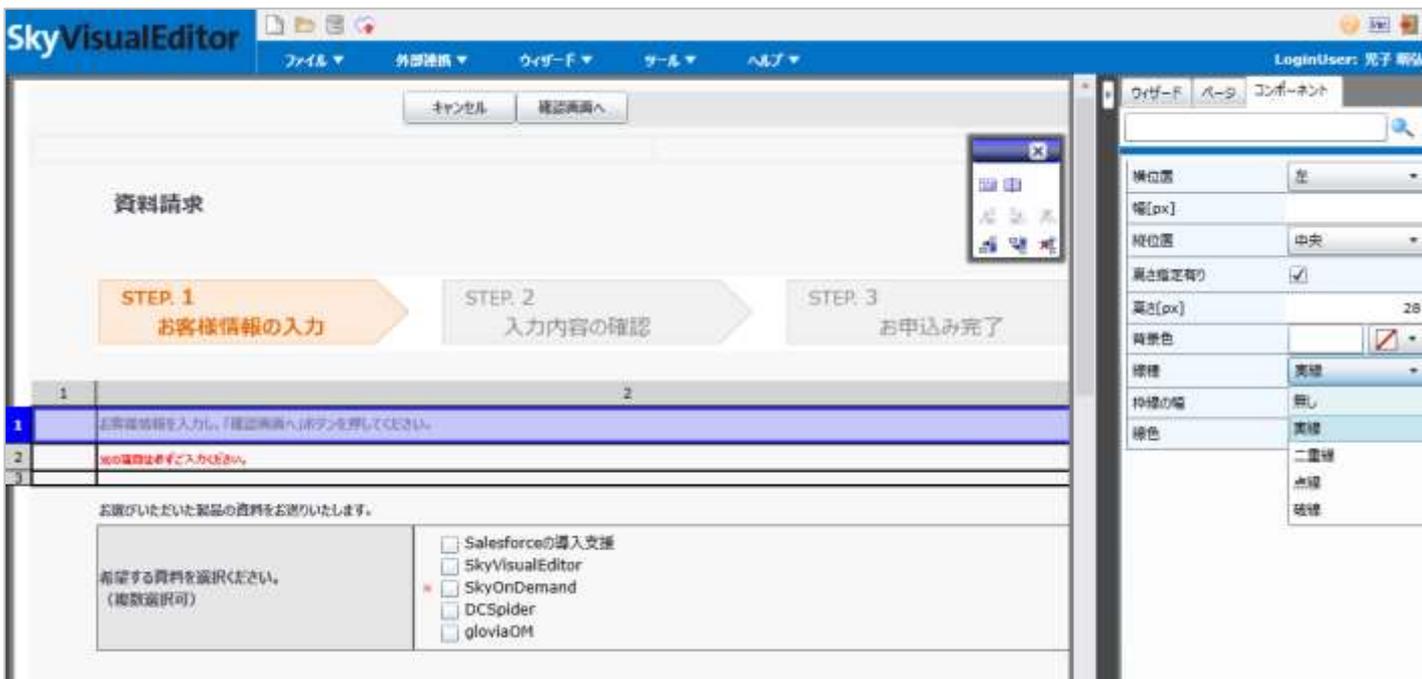
3. 入力画面の作成（デザインの調整）

最後に、セルの背景色や罫線の色付け、文字色の色付けなどをし、デザインを調整します。

以下、画面キャプチャは、罫線を消す設定をしております。

罫線を消したいエリアを選択し、画面右側の[コンポーネント]タブの[線種]を「無し」と選択すれば、罫線が非表示となります。

なお、パネルグリッドは外枠にも罫線があるため、外枠を非表示にする場合は、パネルグリッドをダブルクリックし、[線種]を「無し」と選択します。

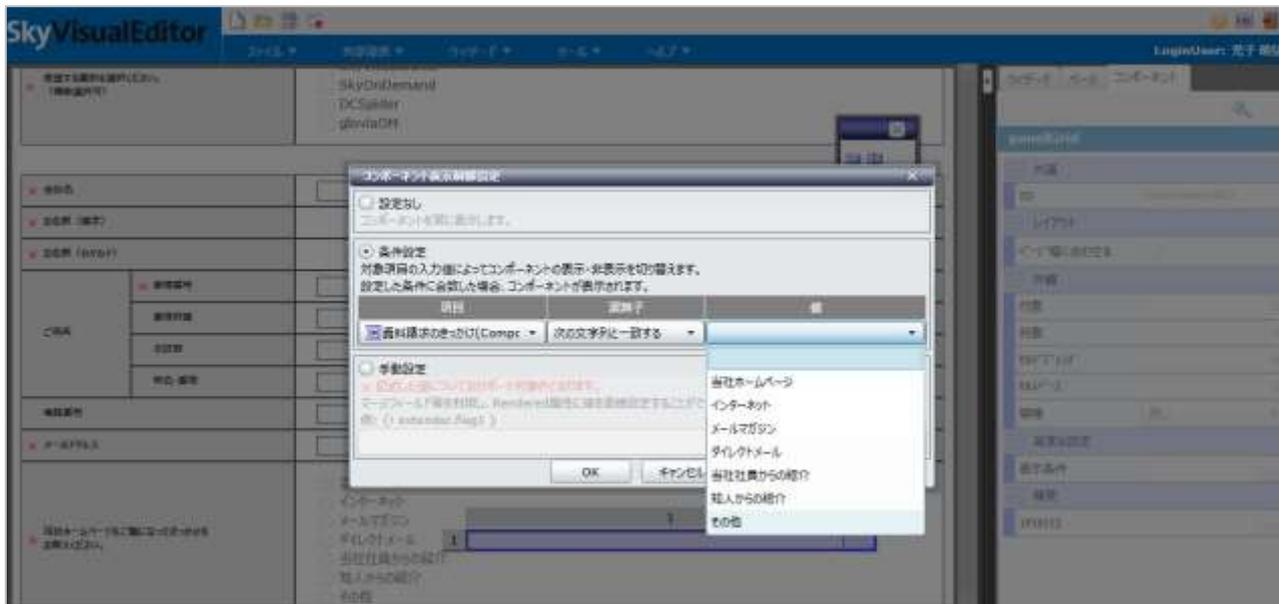


3. 入力画面の作成（表示/非表示の動的な制御）

SkyVisualEditorでは、対象項目の入力値によってコンポーネントの表示/非表示を動的に制御できます。例えば、資料請求のきっかけの選択肢を「その他」とした際に、その他を入力する項目を動的に表示できます。

設定方法は、動的に表示/非表示させたいコンポーネントを選択すると画面右側の[コンポーネント]タブの[高度な設定]より表示条件をクリックすると、下記のダイアログが表示されます。

設定したい内容を指定し、[OK]をクリックし、設定は完了です。



※ 制御できるコンポーネントの種類は操作マニュアルをご覧ください。

(https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf)

1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

4. 確認画面の作成

ここまでで、入力画面ができましたので、次に入力内容の確認ページを作成します。
 確認ページを入力画面と同じレイアウトで作成する場合は、画面右側の[ウィザード]タブ内の[ページ一覧]より、作成した入力画面にある複製ボタン（）をクリックします。
 ページ一覧に複製されたページが追加されますので、編集ボタン（）をクリックします。



The screenshot displays the SkyVisualEditor application window. The main workspace shows a '資料請求' (Information Request) form with three steps: STEP. 1 (Customer Information Input), STEP. 2 (Confirmation of Input Content), and STEP. 3 (Application Completed). The current step is STEP. 1. Below the steps, there are instructions for the user to input customer information and select products. A list of products is provided with checkboxes for selection.

The right-hand sidebar contains the 'ウィザード' (Wizard) settings for the 'Request_form' page. The settings include:

- 主ウィジェット名: Lead
- 名前: Request_form
- 説明: 資料請求フォーム (ウィザード画面)
- Apexクラス名: 編集する
- 共有URL適用有り:
- ヘッダ表示:
- サイトバー表示:
- URLリマーカー設定:

Below the settings, there is a 'ページ追加' (Add Page) section with three page thumbnails and a 'ページ一覧' (Page List) section showing the 'Request_form_1' page with a red box around the copy button.

4. 確認画面の作成（入力項目を参照項目へ変換）

入力項目を右クリックすることで、入力項目から参照項目への変換ができます。
 すべての入力項目を参照項目へ変換することで、確認画面を作成します。
 また、P.18で指定した画像を確認画面用の画像に差し替えます。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. The main window displays a form with various input fields. A context menu is open over the 'セイ' (Family Name) field, showing options for 'OutputFieldへ変換' (Convert to OutputField) and '削除' (Delete). The 'OutputFieldへ変換' option is highlighted with a red dashed box. The form fields include:

- 希望する資料を選択ください。(複数選択可) [対象の資料: Desired_doc]
- 会社名 [会社名: Company]
- お名前 (漢字) 姓: [名: FirstName]
- お名前 (カタカナ) セイ: [セイ: Family] [メイ: First_name_rea]
- 郵便番号 [郵便番号: PostalCode]
- ご住所
 - 〒 都道府県 [都道府県: State]
 - 市区郡 [市区郡: City]
 - 町名・番地 [町名・番地: Street]
- 電話番号 [電話: Phone]
- メールアドレス [メール: Email]
- 当社ホームページをご覧になったきっかけをお教えてください。 [資料請求のきっかけ: Re] [資料請求のきっかけ (その他): Other_detail_c]
- テラスカイからの検立つ情報をメールアドレスにお送りすることができます。 希望する 希望しない

At the bottom of the form are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '確認画面へ' (Go to Confirmation Screen). The right sidebar shows the 'inputField' component properties, including ID (Component1017), API reference name (Lead), and layout settings.

4. 確認画面の作成（保存ボタンの配置）

最後に、入力されたデータをSalesforceへ保存するために、画面左側の[コンポーネント]タブ内の[ボタン]より、[保存]ボタンを画面へ配置します。

ボタン配置後、画面右側のプロパティが[コンポーネント]タブに切り替わりますので、[値を編集する]のチェックボックスをONとし、任意の言葉を指定します。

今回は、「お申込み」と入力します。

ページができましたら、メニューバーの[ファイル]-[保存]より、ページを保存します。

The screenshot shows the SkyVisualEditor interface. The main canvas displays a confirmation screen for a lead request form. The screen has a title '資料請求' (Request for Information) and a progress bar with two steps: 'STEP 1 お客様情報の入力' (Input of customer information) and 'STEP 2 入力内容の確認' (Confirmation of input content). Below the progress bar, there is a text area with instructions: '入力された内容に誤りがないかご確認ください。正しいは「お申込み」ボタンを押してください。入力された内容を修正する場合は、「戻る」ボタンを押してください。「お申込み」ボタンを押すと、資料請求のお申込みが完了します。' (Please confirm that the entered content is correct. Please click the 'お申込み' button when correct. If you need to correct the entered content, please click the '戻る' button. When you click the 'お申込み' button, the request for information is completed.) Below the text area, there is a form with three fields: '資料請求の資料' (Request for information material) with value '[対象の資料:Desired_document__c]', '会社名' (Company name) with value '[会社名:Company]', and 'お名前(漢字)' (Name in Kanji) with value '姓: [姓:LastName]'. The right sidebar shows the 'Component Properties' for the 'Save' button, with the 'Edit Value' checkbox checked and the value set to 'お申込み'.

1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の作成



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

5. 受付完了画面の作成

最後に、受付完了画面を作成します。

受付完了画面は、ウィザード画面ではなく、別途新規に画面を作成します。（※）

メニューバーの[ファイル]-[新規]より、Salesforceレイアウトもしくは自由レイアウトを選択し、確認画面を作成し、デプロイします。

以下画面は、Salesforceレイアウトで確認画面を作成したキャプチャです。



※ P.29で設定した[保存]ボタンは、データが保存されるとデフォルトではSalesforceの詳細画面を表示します。そのため、Salesforceのログインが必要となります。今回は公開サイトのため、公開可能な完了画面を用意します。

5. 受付完了画面の作成（確認画面との遷移設定）

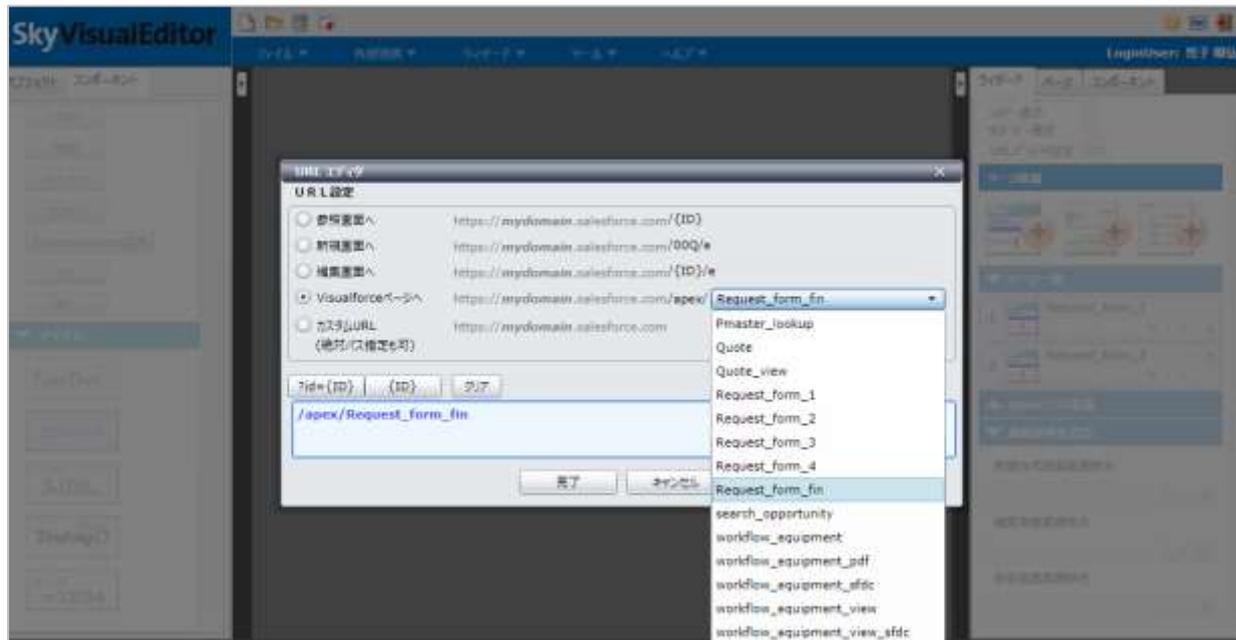
受付完了画面がデプロイできると、再度、P.29で保存したウィザード画面を開きます。

メニューバーの[ファイル]-[開く]より、対象のウィザード画面を開きます。

画面が開きましたら、画面右側の[ウィザード]タブ内の[画面遷移先設定]より、[新規作成後画面遷移先]の[編集]アイコンをクリックします。

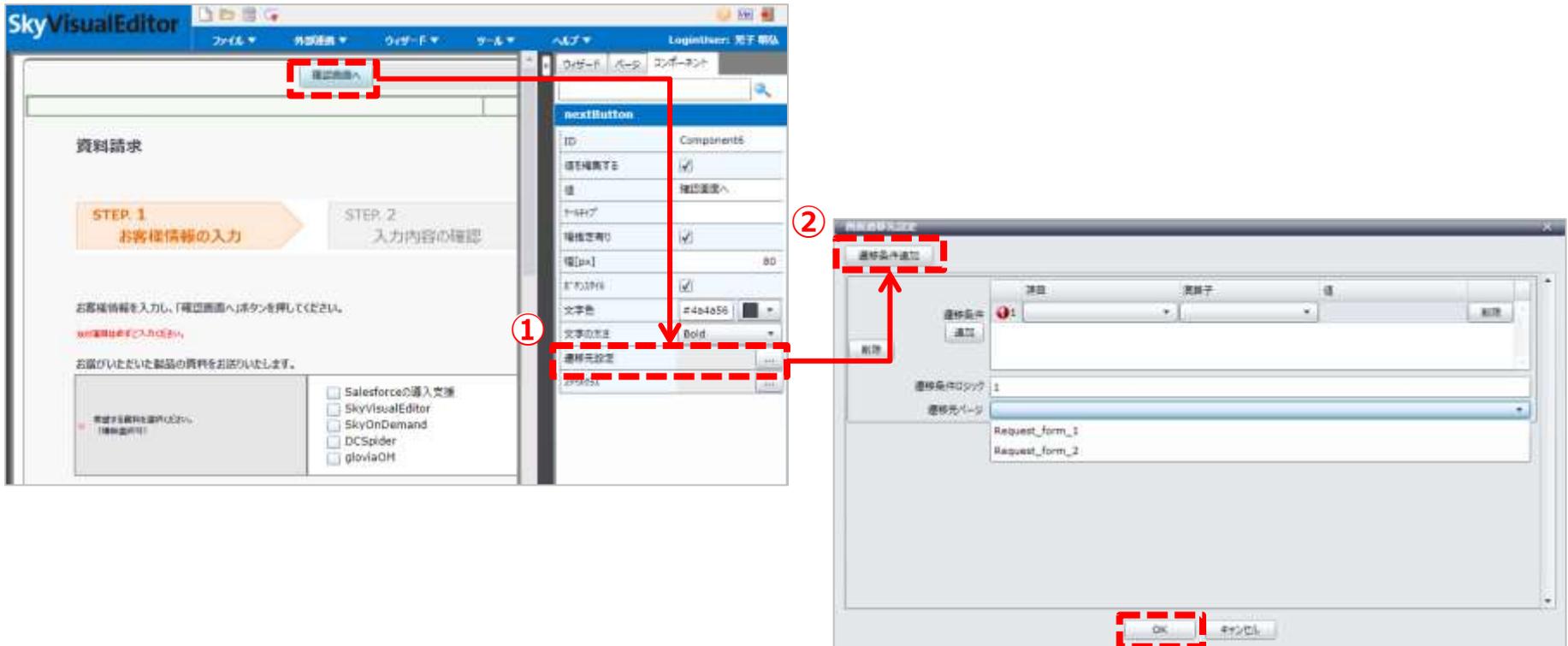
[編集]アイコンをクリックすると、以下のURLエディタが表示されますので、「Visualforceページへ」を選択し、p.31でデプロイした受付完了画面のページ名を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

最後に、メニューバーの[ファイル]-[デプロイ]より、画面をSalesforceへデプロイし、ページの作成は完了です。



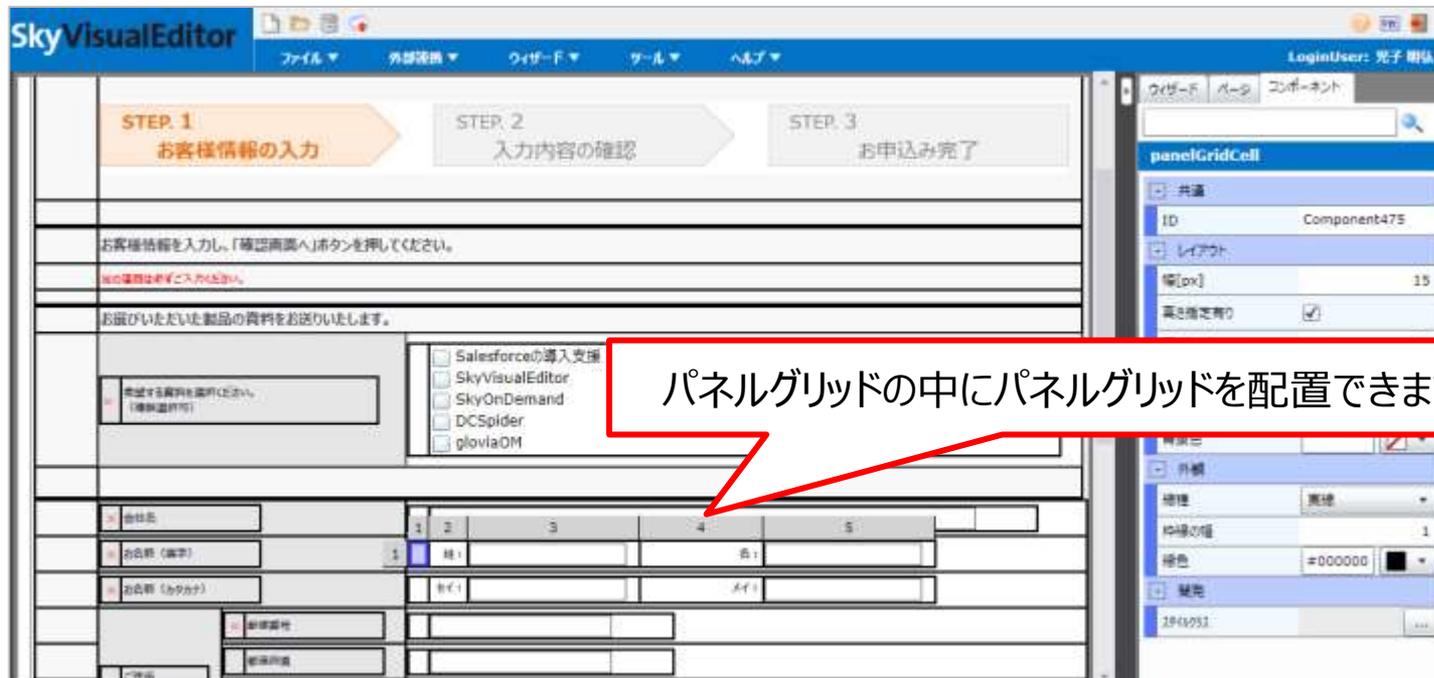
[参考] 条件分岐によるページ遷移の設定

ウィザード画面テンプレートは、入力された値などによって遷移するページを設定できます。
 SkyVisualEditorのコンポーネントの「次へ」というボタンを画面内に配置し、「次へ」ボタンをクリックし、画面右側の[コンポーネント]タブ内の[遷移先設定]をクリックします。(①)
 その後、②の[遷移条件追加]ボタンをクリックし、遷移条件、遷移条件ロジック、遷移先ページを指定して、[OK]ボタンをクリックし、設定は完了です。



[参考] パネルグリッドの入れ子配置

SkyVisualEditorでは、パネルグリッドの中にパネルグリッドを配置できます。例えば、以下の画面キャプチャのように姓と名を1つの枠に配置したい場合は、パネルグリッドを該当の枠（セル）の中に配置し、P.24で紹介した罫線を非表示にする方法を設定することで、デザインを整えることができます。また、入力項目と枠の間に余白を開けたい場合などにも入れ子配置を使うと便利です。設定の手間は増えますが、デザインを整えるときに便利な設定です。



1. オブジェクトの選択



2. レイアウトの選択



3. 入力画面の作成



4. 確認画面の設定



5. 受付完了画面の作成



6. デプロイ後の設定

6. デプロイ後の設定（サイトの作成）

Force.com Sitesに作成したSkyVisualEditor画面を設定する手順を紹介します。

設定の手順は大きく4つのステップです。

なお、以下で紹介する手順はSkyVisualEditorの画面を設定する手順をメインに説明しますので、詳細な設定は、Salesforce社のヘルプをご確認ください。

(https://help.salesforce.com/apex/HTViewHelpDoc?id=sites_overview.htm&language=ja)

1. サイトの作成
2. Visualforceページ/Apexクラスの有効化
3. 対象オブジェクトへのアクセス権限付与
4. SkyVisualEditorライセンスの付与

6. デプロイ後の設定（サイトの作成）

Salesforceの設定画面の[ビルド]-[開発]-[サイト]より、ドメインを作成します。
 詳細な設定方法は、以下Salesforce社のヘルプをご確認ください。

(https://help.salesforce.com/HTViewHelpDoc?id=sites_configuring_sites.htm&language=ja)



サイト

サイトとは?

Force.com サイトでは、公開 Web サイトとアプリケーションを作成できます。それは、Salesforce.com 組織と直接統合されるため、ユーザーログインの場合にユーザー名やパスワードは必要ありません。貴社ブランドのデザインに一致するページが組織に保管されているあらゆる情報を公開できます。サイトを使用して、顧客からのフィードバック収集のためのコミュニティサイト、貴社メール用のログインページや登録ページ、リードキャッチャーのための Web フォームなどを作成できます。

サイトは Force.com サーバにホストされているため、データインテグレーションの問題はありません。また、サイトは Visualforce ページをベースとして構築されるため、取戻した情報のデータ検証は自動的に行われます。固有の Force.com ドメインおよび URL から貴社サイトへのアクセスをユーザーに許可するか、社名ブランドのドメインやサブドメインを登録して自社のサイトに移動させることができます。

さまざまな利用者を対象とした複数のサイトを作成して、企業が多様なビジネスニーズを満たすことができます。たとえば、ソフトウェア会社の場合、新規開発者用、顧客用、およびマーケティング用のサイトを作成できます。

自分のサイト

- MyCompany.force.com/developers
- MyCompany.force.com/customers
- MyCompany.force.com/marketing

自分の Force.com ドメイン

MyCompany.force.com

自分の Force.com ドメインを登録

使用を開始するには、まず貴社の Force.com ドメインを登録してください。Force.com ドメインは一意である必要があります。英数字のみを使用できます。salesforce.com では、貴社の名前を使用するか、または「mycompanyportal」のように貴社の名前に変更を加えたものを使用することを勧めます。

登録エラー: Force.com ドメイン名は変更できません。

http://sve-webinar-developer-edition-ap0.force.com [参加可能を確認](#)

成功! この Force.com ドメイン名 [sve-webinar-developer-edition-ap0.force.com] は使用可能です。

Force.com サイトの同意規約を読み取りました [私の Force.com ドメインの登録](#)

6. デプロイ後の設定（公開アクセス設定）

サイトの作成後、公開アクセスの設定を行います。
 サイトの詳細ページ内の[公開アクセス設定]ボタンをクリックします。

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 販売見積 申請 レポート ダッシュボード +

すべての設定を検索... ? 🔍
すべて展開 | すべて折りたたむ

Salesforce1 の設定 **新機能!**

Force.com ホーム

管理

- ▶ ユーザの管理
- ▶ アプリケーションを管理する
- ▶ テリトリーの管理
- ▶ 組織プロフィール
- ▶ セキュリティのコントロール
- ▶ ドメイン管理
- ▶ コミュニケーションテンプレート
- ▶ トランスレーションワークベンチ
- ▶ データの管理
- ▶ モバイル管理
- ▶ デスクトップ管理者
- ▶ メール管理
- ▶ Google Apps
- ▶ Data.com 管理

ビルド

- ▶ カスタマイズ
- ▶ 作成

サイトの詳細 このページのヘルプ ?

資料請求フォーム

◀ 最後に開いたビューへ: サイト

サイトの詳細 編集 公開アクセス設定 ログイン設定 URL リダイレクト 無効化

サイトの表示ラベル	資料請求フォーム	サイト名	Request_form
サイトの説明	ウェビナーで作成した資料請求フォーム	サイトの管理者	佐藤 太郎
有効	<input checked="" type="checkbox"/>	ログイン	許可されていません
有効なサイトのホームページ	Request_form.1 [プレビュー]	サイトのお気に入りのアイコン	
無効なサイトのホームページ	InMaintenance [プレビュー]	Site Robots.txt	
サイトテンプレート	SiteTemplate [プレビュー]	フィードの有効化	<input type="checkbox"/>
分析追跡コード		URL 書き換えクラス	
クリックジャック保護レベル	公開元が同じページのみでフレーム化を許可 (推奨)	セキュアな接続 (HTTPS) が必要	<input type="checkbox"/> ?
作成者	佐藤 太郎, 2014/11/17 6:34	最終更新者	佐藤 太郎, 2014/11/17 6:34

編集 公開アクセス設定 ログイン設定 URL リダイレクト 無効化

カスタム URL カスタム URLのヘルプ ?

アクション	ドメイン名	パス	サイトの主カスタム URL
編集 削除 参照 管理者としてプレビュー	sve-webinar-developer-edition.ap0.force.com	/	<input type="checkbox"/>

サイト Visualforce ページ 有効な Visualforce ページのヘルプ ? 編集

Visualforce ページ名	AppExchange パッケージ名
------------------	--------------------

6. デプロイ後の設定 (Visualforceページアクセス/Apexクラスの有効化)

サイト（Force.com Sites）用に作成したプロファイルの設定画面が表示されますので、今回作成したウィザード画面および受付完了画面のVisualforceページおよびApexクラスを有効化します。

The screenshot shows the Salesforce user profile configuration page for the '資料請求フォーム プロファイル'. The '有効な Apex クラス' (Valid Apex Classes) section is highlighted with a red box around the '編集' (Edit) button. An arrow points from this button to the 'Apex クラス' (Apex Classes) section, which lists the classes to be activated: 'Request_form' and 'Request_form.js'. The 'ページレイアウト' (Page Layout) section shows 'Global Layout' and 'Outlook' as active layouts. The '管理' (Management) sidebar on the right includes options like 'ユーザー管理', 'アプリケーション管理', and 'モバイル管理'.

6. デプロイ後の設定（オブジェクトへのアクセス権付与）

次に、オブジェクトへのアクセス権を付与します。

プロフィールの設定画面の[編集]ボタンをクリックし、オブジェクトへのアクセス権を付与します。今回は、リードオブジェクトで画面を作成しましたので、リードオブジェクトの作成権限を付与します。その他のアクセス設定（項目レベルでのアクセス権付与など）は任意でご設定ください。

The screenshot shows the Salesforce user profile configuration page for a user named '佐藤 太郎'. The 'Edit' button is highlighted with a red box and a red arrow pointing to the '標準オブジェクト権限' (Standard Object Permissions) table.

標準オブジェクト権限

ここで定義した権限で、オブジェクトレベルのアクセス権を制御します。該当するオブジェクト種別の各レコードへのアクセス権は、共有モデルによって制御されます。プロフィールの機能要件に基づいてアクセス権を設定します。たとえば、個々の購読者、マネージャ、およびシステム管理者に対して異なる権限グループを作成します。 [権限基準は？](#)

オブジェクト	基本アクセス				ユーザー管理		オブジェクト	基本アクセス				ユーザー管理	
	参照	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更		参照	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
アイデア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	価格表	<input type="checkbox"/>					
キャンペーン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	契約	<input type="checkbox"/>					
ケース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取引先	<input type="checkbox"/>					
コーディング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	取引先責任者	<input type="checkbox"/>					
リレーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	商談	<input type="checkbox"/>					
ドキュメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	商品	<input type="checkbox"/>					
パフォーマンスサイクル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	注文	<input type="checkbox"/>					
フィードバック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	納入商品	<input type="checkbox"/>					
フィードバック質問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日誌	<input type="checkbox"/>					
フィードバック質問セット	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日誌コラボレータ	<input type="checkbox"/>					
フィードバック要求	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	日誌リンク	<input type="checkbox"/>					
リード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

※ SkyVisualEditorの検索画面やルックアップ画面を公開する場合は、「SearchCondition」「SkyEditorDummy」へのアクセス権の付与が必要です。

6. デプロイ後の設定（SkyVisualEditorライセンスの付与）

最後に、サイトのプロフィールにSkyVisualEditorのライセンスを付与します。
 プロファイル設定画面の[このプロフィールに属するユーザの参照]ボタンをクリックします。
 ビューが表示されますので、該当のユーザ名をクリックします。（①）
 ユーザの詳細ページが表示されますので、画面最下部の管理パッケージの②の[ライセンスの割り当て]ボタン
 をクリックします。[未割り当てパッケージ]からSkyVisualEditorを追加し、設定は完了です。

The screenshot shows the Salesforce user profile page for 'request_form@sve-webinar-developer-edition.ap0.force.com'. A red dashed box highlights the user name in the table, with a red arrow pointing to the 'このプロフィールに属するユーザの参照' button. Another red dashed box highlights the 'ライセンスの割り当て' button in the '管理パッケージ' section.

アクション	氏名	ユーザ名	最終ログイン	ロール	有効	プロフィール	マネージャ
編集	サイトゲストユーザ 資料請求フォーム	request_form@sve-webinar- developer-edition.ap0.force.com			✓	資料請求フォーム プロフィール	

アクション	パッケージ名	状況
	SkyVisualEditor AppComponent	無料 有効期限はありません

1. ウィザード画面テンプレートについて

2. ウィザード画面テンプレートを使った画面の作成方法

3. 作成した画面をつかってみよう

作成した画面を使ってみよう (1/2)

作成した画面を実際を使ってみましょう。
 今回はForce.com Sitesにて作成しましたので、今回作成した画面を皆さまへ公開します。
[\(https://sve-webinar-developer-edition.ap0.force.com/\)](https://sve-webinar-developer-edition.ap0.force.com/)

資料請求

STEP 1 お客様情報の入力

お客様情報を入力し、「確認画面へ」ボタンを押してください。
 ※必須項目は必ず入力ください。

お選びいただいた製品の資料をお送りいたします。

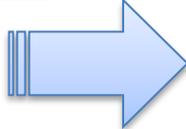
ご希望する資料を選択ください。
 (複数選択可)

- Salesforceの導入支援
- SkyVirusEditor
- SkyOnDemand
- DCSpider
- SkyVORM

会社名: 株式会社テラスカイ
 お名前(姓): 姓: テラスカイ 名: 太郎
 お名前(名前): セイ: テラスカイ タイ: 太郎
 郵便番号: 100-0000
 都道府県: 東京都

入力値の値に応じて、動的に入力フィールドを表示できます。

複数選択リストをチェックボックス形式での表示ができます。



資料請求

STEP 1 お客様情報の入力

STEP 2 入力内容の確認

STEP 3 資料が送付完了

入力内容の確認画面です。入力内容を確認し、間違いがないことを確認してください。
 ※必須項目は必ず入力してください。

お選びいただいた製品の資料をお送りいたします。

確認画面へ

品名	料金の内訳	送料
SkyVirusEditor	資料代 ¥1,000	送料 ¥500
DCSpider	資料代 ¥1,000	送料 ¥500

お名前: 株式会社テラスカイ
 郵便番号: 100-0000
 都道府県: 東京都
 市区町村: 千代田区
 町名・番地: 千代田1-1-1
 電話番号: 03-1234-5678
 Eメール: test@terasky.com



資料請求

STEP 1 お客様情報の入力

STEP 2 入力内容の確認

STEP 3 資料が送付完了

この画面は、資料請求を完了するための確認画面です。
 この画面で入力された内容を確認し、間違いがないことを確認してください。
 ※必須項目は必ず入力してください。

確認画面へ

会社名: 株式会社
 郵便番号: 00-0000-0000
 電話番号: 0000-0000-0000

作成した画面を使ってみよう (2/2)

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 販売見積 申請 レポート ダッシュボード +

すべてのリード [編集](#) | [削除](#) | [新規ビューの作成](#) リスト フィード

新規リード 状況の変更 所有者の変更 キャンペーンに追加

アクション	名前 ↑	会社名	都道府県	メール	リード 状況	作成日	所有者(別名)	所有者
編集 削除 +	テラスカイ 太郎	株式会社テラスカイ	東京都	tterrasky@terra...	Open - Not Conta...	2014/11/17	ゲスト	✓

資料請求フォームでお申込みがあったデータがリードオブジェクトに登録されます。

ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談検索 商談 販売見積 申請 レポート ダッシュボード +

テラスカイ 太郎

リードの詳細

リード 所有者	サイトゲストユーザ 資料請求フォーム [変更]	リードソース	詳細
会社名	株式会社テラスカイ	リード 状況	Open - Not Contacted
名前	テラスカイ 太郎	電話	03-5255-3411
セイ	テラスカイ	携帯	
メイ	クロウ	Fax	
役職		メール	tterrasky@terraskey.co.jp
性別		Web サイト	
業種			
年齢売上			
従業員数			
住所	103-0023 東京都 中央区 八重洲1-6-6 八重洲センタービル7階		
対象名資料	SkyVistaEditor; SkyOnDemand		
資料請求のきっかけ	その他		
資料請求のきっかけ(その他)	Salesforce World Tourのブース紹介を受けて		
メール配信希望有無	希望する		
作成者	サイトゲストユーザ 資料請求フォーム, 2014/11/17 9:40		最終更新者
説明			

Salesforce標準画面

お役立ち情報

- ・セミナー/イベント情報
- ・サポート窓口

SkyVisualEditorの事例や製品について知る

- **12月4日（木） 「Salesforce World Tour」**
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1204-001.php>
- **12月12日（金） 14:30-17:30 「SkyVisualEditor紹介セミナー」**

SkyVisualEditorを体験する、学習する

- **11月28日（金） 15:00-17:00 「SkyVisualEditor体験セミナー」**
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1128-001.php>
実際にSkyVisualEditorを操作しながら、画面開発を体験できるセミナーです。
- **SkyVisualEditor標準トレーニング**
SkyVisualEditorの基本的な機能を網羅したプライベート研修です。
こちらを受講いただければ、SkyVisualEditorの基礎をご理解いただけます。

SkyVisualEditorの機能/設定に関するお問合せ

SkyVisualEditorのご契約者様は、以下の専用問合せページよりお問合せいただけます。
SkyVisualEditorの標準の機能/設定に関するお問合せは無償です。
また、別途、有償サポートのプランも用意しております。詳しくは以下問合せE-Mailよりお問合せください。

契約者様専用問合せページ：<https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>

SkyVisualEditorのご導入に関するお問合せ

SkyVisualEditorに関するお問合せは以下お問合せフォームおよびメールアドレス、お電話番号にて受け付けています。お気軽にお問合せください。

問合せフォーム：<https://www.terrasky.co.jp/contact/support/index.php>

問合せE-Mail：product.sales@terrasky.co.jp

問合せTEL：**03-5255-3411**

第8回 活用編 「いますぐ使える便利な機能紹介 2回目」

12月17日（水） 15:30-16:00

<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/1217-001.php>

第8回は、SkyVisualEditorで画面を作成する際に、お客様からよくあるご質問に対するTipsを紹介させていただきます。

皆さまのSkyVisualEditorの更なるご活用およびご検討にお役立てください。

第9回 基本編 「プロフィールやレコードタイプごとにページを割り当てよう」

1月開催予定。

SkyVisualEditorは、Salesforce標準のページレイアウトの割り当て機能と同じように、作成した画面（Visualforce画面）をプロフィールやレコードタイプごとに割り当てることができます。第9回はそのページ割り当て機能を紹介します。